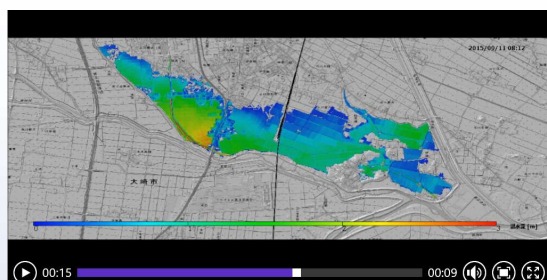


水災害防災教育セミナー：小学生、中学生、高校生のみんなで楽しく学ぼう！

洪水災害をVRで体験してみよう！ -次世代ハザードマップの利活用-



ムービーで学ぶ洪水災害！



洪水や津波などの水災害から人々の命を守るため、水災害を事前に想定する研究

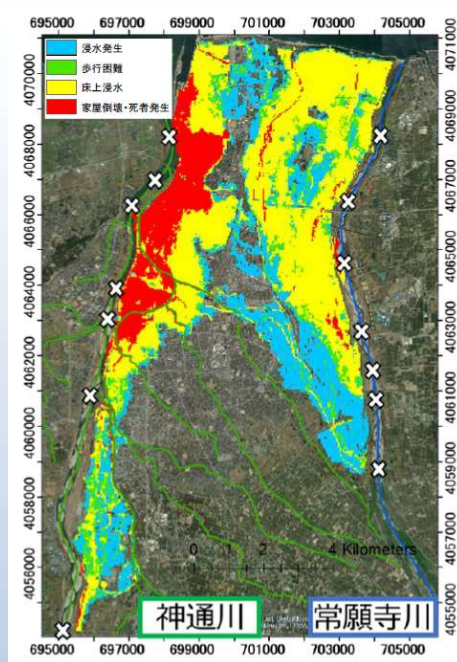
ハザードマップをみんなで確認！



食べてみよう、防災・非常食！



VRで洪水災害を体験！



富山にはどんなリスクが？

プログラムの内容：

最近、洪水や津波などの水災害が、たくさん起こっています。「何で災害が起こるのだろう？どうすれば自分や家族の命を守れるのだろう？やっぱり地球温暖化のせいなのか？」このような問いに、わかりやすく答えます。また、次世代の新しいハザードマップやVR (Virtual reality) を用いて、洪水災害を仮想体験してもらうことで、家族・学校で防災を考えるきっかけを提供するプログラムです。

最初に、講義「洪水の恐怖 -命をいかに守るか-」を行い、大学の講義の雰囲気を経験してもらうとともに、最近の水害の問題点や温暖化のメカニズムを学びます。

■日時： 令和2年10月10日(土) 10:00-15:30

■場所： 富山県立大学 中央棟 2階 N-213号室

■参加登録：下記(呉修一)まで、氏名・所属・参加人数をメールでお願いします(詳細はチラシ裏面の確認をお願いします)。

■受講対象者：基本的には、中学生・高校生を対象としたプログラムです。ですが、大学生や小学生、一般のかたの参加も歓迎いたします。

参加申し込み・問い合わせ先: 富山県立大学 環境・社会基盤工学科 准教授 呉修一
E-mail: kure@pu-toyama.ac.jp Tel:0766-56-7500 Fax:0766-56-6182

当日のスケジュール

9:30～10:00 受付（集合場所：富山県立大学 射水キャンパス 事務局前集合）

10:00～10:15 開講式（挨拶、オリエンテーション、科研費の説明）

10:15～11:00 講義「洪水の恐怖 -命をいかに守るか-（講師：呉修一）」

（15分休憩）

11:15～12:00 体験実習の準備「地域の危険な場所をハザードマップで確認してみよう！」

12:00～13:00 講師・研究協力者（大学院生）とのランチ座談会（お弁当支給）

13:00～13:45 体験実習①「洪水ハザードマップをVRで見て実際に水害を体験してみよう！」

13:45～14:30 体験実習②「自分と家族の防災計画を策定してみよう！」

（15分休憩：おやつタイム←防災・非常食の提供・試食を含む）

14:45～15:15 ディスカッション

15:15～15:30 修了式（大切な人・地域を守るための防災宣言の採択）

15:30 終了、解散（希望者には研究室・実験室見学を実施）

参加申込と問い合わせ

● Eメールで、氏名・年齢・学校名・参加人数を連絡してください。

● 以下の科研費のウェブサイトから申し込むことも可能です。

小・中・高校生のためのプログラム ひらめき★ときめきサイエンス

<https://area18.smp.ne.jp/area/card/10251/fEbUDc/M?S=pdtht0tdp0k>

<<申込み・問い合わせ先>>

富山県立大学 工学部 環境・社会基盤工学科 准教授 呉修一

E-mail: kure@pu-toyama.ac.jp

TEL: (0766)56-7500 (内1733)

※ 当日参加も可ですが、人数把握のため事前(9月30日(水)まで)に、ご連絡ください

**当日は徹底的なコロナ感染対策(検温、マスク着用、換気、こまめな消毒
社会的距離の確保など)を行いますので、ご協力をお願い致します。**